

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月22日更新

事務事業名	ことぶき・高齢者講座事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	岐部則夫
計画	施策	21	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	大隅理央
体系	施策の柱	67	学習への参加機会の提供	所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目	会計一般	款10	項5	目3	事業連番10445	根拠法令	社会教育法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
							成果優先度評価結果 : ⑤
							コスト削減優先度評価結果 : ⑨

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本市は「元気・活力・創造まち」を将来都市像に掲げ、全ての市民が安全に安心して暮らすことができるまち「健康都市こうし」の実現に向け、60歳以上の市民を対象に、活気あるまちに住んでいることに生き甲斐を感じ、生計を立て、自己を学びも含め、充実した生活を送ることを目的に、5月から3月まで御代志市民センター又はウィーブルにて月に1回、様々なテーマの講演会や研修を開催する。学習内容は、「市政について」「健康管理について」「認知症予防」などをテーマに取り組んでいる。
【業務の流れ】	①事業計画、講師依頼、受講生の募集・受付 ②毎月の開催日の案内 ③会場の設営、講演会の実施 ④研修旅行計画、募集、実施
【主な予算費目】	報償費(講師謝金)、需用費(記念誌作成代)
【意見や要望】	高齢者を対象としているため、講座日は市バスの運行を行なっているが、交通の便が不便という意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	市長講話、社会を明るくする運動講演会、ハンセン病講演会、健康講話、研修旅行(福岡県)、文化協会コンサート、認知症予防講話など	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	講座実施回数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→	回	→
② 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	60歳以上の市民	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→	人	→
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	受講生が増える	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→	人	→
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
受講生が増加することにより、社会参加している高齢者が増加することにつながり、高齢者の自立促進につながるから		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	回数	回	11	11	11	11	11	11	11	11
② 対象指標	人数	人	9,083	9,280	17,000	17,338	18,000	18,000	18,000	18,000
③ 成果指標	人数	人	844	763	1,300	2,049	2,100	2,150	2,200	2,250
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	91	209	248	182	248		
		(A) 事業費計	千円	91	209	248	182	0	248	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	4	1	4	4	0
延べ業務時間	時間	240	770	142	5	142	142	0		
(B) 人件費計	千円	956	3,067	565	18	565	565	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,047	3,276	813	200	565	813	0		

事務事業名	ことぶき・高齢者講座事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 講座生が固定して高年齢をむかえており、学習会への参加者が減少している。今後は、一般参加を呼びかける必要がある。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学習内容の固定化やそれに伴って受講生の減少がある。近年は健康や認知症予防など重視されているので、より多くの人が興味を持ち、学びたいと思うような学習内容を考案する必要がある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 代表者会議での意見の集約や受講生からアンケートを取り、より魅力的な内容とすることで、新規受講生獲得を目指したい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 近年「高齢者教養講座事業」と「ことぶき大学事業」が統合を行なったため、今の段階ではこれ以上の統合は難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在この事業にかかる費用は講師謝金と記念誌作成代で、これ以上の削減は難しい。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 「高齢者教養講座事業」と「ことぶき大学事業」統合を行なったため、これ以上の人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 講師謝金などは、受講生の会費でまかなうのが受益者負担にかなうものと思われる。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 60歳以上の市民を対象としていて、それらの方に、講師との交渉、講座の中身づくり、受講生への通知等全てを負担させるのは難しい。

3 評価結果の総括 (CHECK)

事業の統合後受講者の範囲が合志市全域と広がるため交通手段を考慮する必要がある。また、受益者負担の観点から、受講者には一定の費用を負担してもらう必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						